

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的の債券

有価証券の評価基準は、原価法によっている。

(2) 支払準備金について

当期より責任準備金を支払準備金と科目名称の変更を行い、かつ当期は支払準備金への繰入額として当年度事業活動収入から事業活動支出を差引いた額の2分の1を繰入れることとした。

(3) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本引当定期預金	500,000	0	0	500,000
合 計	500,000	0	0	500,000

3 支払準備金の増減額及びその残高

支払準備金の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
支払準備金	199,445,069	3,992,167	0	203,437,236
合 計	199,445,069	3,992,167	0	203,437,236

4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価格	時価	評価損益
第147回あおぞら債(2年)	50,000,000	48,845,000	△1,155,000
第50回あおぞら債(3年)	89,284,657	85,130,000	△4,154,657
合 計	139,284,657	133,975,000	△5,309,657